

## 令和5年まちづくり懇談会会議録

開催日時	令和5年2月10日（金）13:30 ～ 14:20
会 場	歌笛総合住民センター
自治会名	歌笛地区連合自治会
出席者	<p><b>【町側】</b>            大野町長、田中副町長、久保田教育長、柴田総務部長、藤沢保健福祉部長、水谷産業建設部長、米田地域振興部長、片山教育部長、渡辺町立病院事務長、            佐藤契約管財課長、山口消防長、高澤警防課長、佐伯地域振興課長、森多地域振興課主幹 14人</p> <p><b>【自治会側】</b>            15人（男性15人、女性0人）のほか、町議会議員4人</p>

### 《顛末内容》

主 な 内 容	
開 会	13:30～
自治会長挨拶	<p>13:31～</p> <p>皆さん、こんにちは。            本日はまちづくり懇談会に、川上地区の皆さんもご一緒に出席いただきありがとうございます。</p> <p>また、寒さ厳しい中、そして冬らしく真っ白になり、足元の悪い中、大野町長をはじめ、町の関係者の皆様には、何かとご多用のところご出席を賜りありがとうございます。町には、日頃から歌笛地区の要望に対し、いろいろなご対応をしていただき、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。</p> <p>昨年は中止となりましたが、例年2月に要望してまちづくり懇談会を実施しております。参加された自治会の皆様とともに、要望等について懇談させていただきますので、意義あるご意見を賜りますようお願い申し上げます、簡単ですが開会の挨拶といたします。</p>
町長挨拶	<p>13:33～ 大野町長</p> <p>改めまして、皆さんこんにちは。            自治会長さんからもお話しがありましたが、寒さが続いております。結構冷えておりまして、街中でもこの地区は山あいに入っておりますので、特に冷えがきつく、水道が凍結したと聞いております。</p> <p>昨年はコロナということで、こういう場を持つことができませんでしたけれども、今年5月の連休明けからはコロナも2類から5類に変わりますが、基礎疾患がある方は引き続き注意しなければなりません。町の状況で申しますと、細かい発生情報は私のところにも入ってきませんが、病院関係で入院している方がかかると、そういうところは感染が止まらない状況もございますので、引き続き感染予防に気を付けていただければと思います。</p> <p>今日私どもからは、1点のご報告をさせていただきます。また皆様から2点ご</p>

	要望いただいておりますので、その要望事項を中心に意見交換をさせていただければと思いますのでよろしくをお願いします。
職員紹介	13:35～
資料説明	13:36～ 渡辺町立病院事務長 ・令和5年度三石国保病院の診療体制の変更について
質疑 自治会員A	13:40～ 新しく来る先生は、町内に在住するかどうか差し支えなかったら聞きたい。例えば、札幌からの通いで週末は帰るのか、それとも、町内に居住するのか、できれば何歳かくらいかも聞きたい。
渡辺町立病院事務長	はい、歳は現在53歳でございます。居住の関係でございますけども、自宅を構えておりますので、週末については町外の方でということと予定しております。
自治会員B	診療科の中で、小児科の部分で対応出来ない部分は、近隣の病院でという言い方をなされましたが、川上・歌笛地区でも近隣といったらどこになるのでしょうか。そういった部分の対象となる病院があるのでしょうか。
渡辺町立病院事務長	この近隣とは、まず浦河町ですね。日赤さんの方で小児科がありますので日赤さんと、静内地区は町立静内のほかにも徳洲会病院がございますので、そちらにと考えておりました。
懇談希望テーマ	13:42～ ①消防第2分団常駐員について 歌笛地区に昼間3名の団員の人員確保が難しいため、昼間に1名配置して欲しい。
山口消防長	ただいま消防団員数の減少に伴う影響で、その対応ということだと解釈しています。消防団員の減少に対する影響というものはもう全分団に通じた共通の課題や影響があるところでもあります。現組合の消防団員数は342名となっております。ここ10年で56名減少しております。かつて450名近くだったと思います。が、どんどん消防団員数は減少している現状にあります。これはこの地区だけではなく、全国的にも毎年1万人以上減少が続いている状況です。そのため団員数を何とか確保しようと、新規の団員確保に向けた対策を私どもも実施はしていますが、なかなか効果がないといった状況であります。そのため今年度新たに、団員の現在消防車両を運用するのに必要な準中型免許に対する助成、取得に対する助成を新たに導入してまいります。今後、さらに団員確保に向けた対策を継続して進めて参りたいというふうに考えておりますので、ご理解のほどお願いしたいと思っております。
自治会員C	質問ではないですが、実は美野和の分団も消防車が1台配置してもらって、現在5人でお願いしているような状況です。先日団員の方が来て今年2人辞めるといふことでそうすると3人しか残らない。そうすると1人かけたら消防車

山口消防長	<p>は動かなくなる。そうすると歌笛も消防車が動かない、美野和も動かないとなると、川上まで行かないと消防車が動かないような形になると思いますが、地域としても、また災害区分とかの火災が起きてないのですが、少し心配な状況があるので、是非ともこれを進めてほしい、美野和に1人置いてくれということにはならないかもしれないので、せめて歌笛には置いて欲しいと思う。</p>
自治会員D	<p>消防団の各分団の組織も高齢化などがありまして、辞められる方が多いとお話しさせていただきましたが、そうかといって地域の防災を維持する力を減少させるわけにはいかないと考えております。そのために、今ある分団、例えば、2分団の時には例えば4分団を同時に招集するとか、そういった広域的な連携を図りながら町も動きますけれども、広域的な連携組織を活用しながら、災害時には対応して参りたいと考えております。ただ、そういう5つの地域の防災力を維持するために、抜本的な所の見直しというのをも併せて実施していかなければならないと考えております。現在もう既に、その件については協議を進めておりまして、近い将来ですけれども各消防団の方、それから地域の方にもご相談しながら再編等も進めてまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
	<p>第2分団分団長をやっています。昨日役員会を開きまして、美野和の関係も2人退団で、そのうちの1人しか農家でなくて勤め人ですから、常時その周辺にいるのが1人となっているので、かなり負担がかかっている。どうしても自分一人で責任持って、美野和が火事になった時に出勤しなければならない。歌笛もそうですが、ほとんどが勤め人で、自営は1人か2人しかいなくて、どうしてもその人がどこかに行くときにお互い連絡しますが、やはり負担でどこにも行けない状態です。去年、若い方が何人か入ったのですけれども、川上は充実していると思いますが、どうしても二つ目の定数、美野和の人数がいなくなったら歌笛に吸収合併しようという話しは進んできたのですけれども、この手薄の状態新しい人が入ったから、車の免許が無いから補助しようとかそういう段階ではないです。実際自分たちの住んでいる所で火災があった時に出なければならない体制でいる時に、今から考えますではなく、そういうのを早急にやっていなかったら、責任もって消防車を運営しているのですけれども、地域を守るためとか、火事があった時だけご苦労さんでしたと言われるけれども、私達も責任持って職員ではないので休みもなく1年中その責任を持っていなければならないというのはかなり大変です。どうしてもその団員自体も歳で、定年60、65と言っていますが、ほとんどそれに近い状態で、その中でやりくりしていかなければならない。物すごい苦痛というのか。今の若い人方が親の世代で、子どもたちがいるために消防団員に入らない。入らないのはその世代が特に増えてきているので、いざ火事という時に出て行かなければならないのは、その年代だけですけれども、やっぱりそこに負担は余りにもかけられないという状況です。常時土日の夜はいるので本当に駆けつけ消防みみたいな形ですけど、そこは何とか充実します。月曜日から金曜日の平日だけでも何とか回して</p>

山口消防長	<p>             いただいて、そこだけカバーしていただければ、消防車も動かせる状態で、火事になったらいけるとか、そういう状態を昨日も話したのですけれども、その状態を取ってもらわなかったら、もし火事で行って、消防車1台も動かなくて、お前ら何やっていると言われるのは私らです。これを何とか回避したいと思うのでよろしくお願いします。           </p> <p>             日頃より地域防災のためにご尽力いただいていることに対しましては本当に感謝申し上げます。冒頭で私の方からお話ししましたとおり、高齢化による団員減少については2分団以外にも、管内全分団に共通している課題でございます。消防車両の運行に対しても、支障をきたしている部分というお話しを聞いております。ただ、この問題を抜本的に解決するにはやはり、組織の再編等も必要なかもしれませんけれども、組織を一度再編してどんどん縮小してしまつては、地域の防災力もどんどん落ちていくのではないかと考えております。ただ、その再編も合わせて抜本的な対策になるのは新規入団者の確保と考えております。両方合わせながら並行して進めながら、私どもとしても少しでも、全く改善にはならないかもしれませんが、改善に向けて努力はしていきたいと考えておりますのでご理解をお願いします。           </p>
水谷産業建設部長	<p> <b>②公営住宅の入居について 歌笛地区にある公営住宅の新規入居をしない理由は。</b> </p> <p>             歌笛地区の公営住宅の入居についてご説明させていただきます。まず初めに、公営住宅の現状ですけれども、昭和62年から平成5年にかけて、6棟12戸建設されています。その後、平成9年と平成10年で10棟24戸、合わせて16棟36戸が公営住宅として管理をさせていただいております。           </p> <p>             このうち昭和62年から平成5年にかけて建築した6棟12戸については、建設から30年から36年が経過しているところで、老朽化している現状でございます。これについては、平成25年に策定しました公営住宅長寿命化計画に基づきまして、順次改修したいというところで考えでございます。こちらについては、人口減少だとか今後の人口の推移などを考慮した中で、町全体の公営住宅の管理戸数を調整していくという計画も含んだ内容になっております。           </p> <p>             今後公営住宅として管理していく部分については、平成9年、平成10年に建築しました10棟24戸を管理していくというようなことであります。そのうちなぜ入居させないのかというところですが、今後も管理していく10棟24戸については、そのタイミングの時に、もしかしたら公営住宅に空きがなくて入居が出来なかったのか、その辺りはちょっと不明ですけれども、現在この10棟24戸のうち、昨年10月に退去された方がおり住宅修繕が完了しました。第3回の入居募集で候補を募って入居募集を図ってきたところで、11月の時には入居希望がなく、次回の公募の予定については2月末から3月の中旬にかけて公募するところです。ご案内は、2月25日に発行します町広報の3月号で公募を予定しておりますので、その際に入居の申請を出していただきたい。1戸空いております。           </p>

	<p>ので、繰り返しますが町広報の2月25日発行の3月号で広報しますので、そちらに詳細を書いておりますので見ていただきたいと思います。</p>
<p>意見交換 自治会員 B ・川上会館について</p>	<p>14:01～</p> <p>川上会館の管理をしています。町に要望したい部分が、厨房のガス瞬間湯沸かし器の排水が下の排水管につながっていない。途中で切れていて、寒い時は玄関付近で水を抜かなければいけない。その時にバケツを当てて水抜きをして、当然湯沸かし器の水も抜いてしまう。ところが、川上会館の場合は、使用率が多い老人クラブは毎回トイレを使うので必ず水を出してやらなければいけない。最後には凍結予防のため行ったとき、その水抜きが排水につながっていないがためにバケツを当ててバルブを開けて水を抜く処理をしなきゃいけない。1週間に1回必ず老人クラブが集まって施設を使用しますので作業は必要です。尚且つ、その水抜き排水のバルブも床下の上部に設置されているのですが、工具がないと回せれない、操作ができない。これも何度か直接静内に行って要望したわけではないですけれども、いろいろな方をお願いしたところもあります、一切改善する予兆も全然見られないので、この辺りはどうなるのかと思っています。</p> <p>もう一つは、駐車場の敷地から道路まで木柵がありますが、まだ一度も交換していないと思う。環境対策や何かの部分で防虫防鼠の対処をしていないと思う。ほとんどが傾倒して全て連鎖して倒れてしまっている状況です。今回、川上地区で葬儀があったので、木柵が垂れ下がった部分は補修したのですが、その杭に補修するビスもきかない状態になっております。当然耐用年数は超えていると思いますので、その都度交換してもらえと思っていますので、30メートルから40メートル対処してほしい。そういった細かいお願いを川上地区からのお願いといたします。</p>
米田地域振興部長	<p>ありがとうございます。施設管理のことでいろいろとご不便をかけているということで、現場に私ども伺いますので教えていただければ、私たちの方でそれを改善する形で進めていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。</p>
<p>自治会員 A ・歌笛総合住民センターの改修について</p>	<p>自治会要望事項として毎年町で取りまとめている、歌笛連合自治会から長年に渡って住民センターの改修についてお願いしていますが、今年の年明けだったか担当から考え方について説明は聞きましたが、まだ時間がかかりそうで、今日他の自治会長もいるので、具体的に実際にどれぐらいの期間で、どう考えているのか概略を説明してもらえれば、毎年要望事項で上がって、他の自治会員さんはいつどうなるのか全然わからない状況なので、ある程度こういう考え方で進めていく、目途としては何年ぐらいまでにこうしたい、その通りになるかならないか別としてある程度のゴールが見えないと、ただ毎年同じことを要望してだけで、町からの回答も毎年同じ状況なので、ある程度その計画なり、目途を説明出してほしいと思います。</p>
佐藤契約管財課長	<p>先月の連合自治会役員会の場をお借りしまして、今後の概要についてご説明</p>

<p>自治会員A</p>	<p>させていただいたところです。町では公共施設等総合管理計画と言いまして、これは簡単に言いますと地域に幾つかある同じような施設を集約させていただいて、その施設を改修なり改築して長く使ってもらい、併せて将来的な負担を減らしていきましょうという考えから、計画を策定しまして、各地区で順次進めてまいりました。令和元年度から、鳧舞地区続いて本桐地区、今年度につきましては、川合西川地区を終えまして、令和5年度東別西端地区の集約を予定しております。その次に、歌笛地区に取りかかりたいということでご説明をさせていただきました。今やっている集約事業は国の交付金事業を活用して実施しているところです。この交付金事業ですけれども令和5年度で一旦計画が区切られて、また令和6年度から新たに計画を立てる予定でありまして、基本的には歌笛地区の事業にも活用したいと町としては考えているところですが、現時点ではまだその計画の詳しい内容が国から明確に伝わっていない状況であります。ただ、歌笛地区につきましては、以前から総合住民センターの改修なり改築の要望をずっと挙げているのも分かっていますので、次はこの地区で事業を進めていきたいと町としては考えております。ただ、先程申し上げましたとおり予算と言いますか、財源の部分がはっきりしてないという関係もございますので、まず令和5年度で地域の皆様と協議を進めさせていただきまして、改修なり改築に当たりまして希望通りできれば良いのですけれども、できるところや難しいというところを来年度に向けまして整理させていただいて、こういう建物施設を作っていきますという大枠を固めながら次のステップに進めていきたいと考えております。基本的には、この敷地において、今の建物を改修なり改築という形になると思いますので、そこに設計等も入ってきますので、財源の関係もございませうけれども3年ぐらいは少なくともかかるのではないかと考えていますが、計画の部分もございませうのでいつとは言えないのですけれど、一つずつ課題を解決して改修や建て替えに考えていければと思います、進めているところでございます。</p>
<p>大野町長</p>	<p>いつとは約束できないけれども、概ね令和8年位までには何とかしたいという考えで理解して良いですか。できる、できないを確約すると言っているわけではないから、検討しますとずっと言うのではなくて、少なくとも令和8年くらいには何とか町としても目途を付けたいという言葉があれば、歌笛の人もああそうかと安心すると思います。だからどうしても令和8年までに何とかすれと言っているわけではない。その辺りの考え方を町長の責任において説明してほしい。</p> <p>完成が早ければ7年で出来上がる可能性はありますよね。今年は、令和5年に皆さんと相談しながら、改修してどのくらいの規模にするのかなどの協議をしながら、6年からの次期計画、国に計画書を出すのですがそこに出しましょう。それも恐らく5年計画を作ることになるのですけれど、7年にはうまくいったら出来上がっている可能性はあります。すごく立派なものを要求されると困りますけど、早ければ7年、6年度の計画なので、いずれにしても国から交付金をい</p>

<p>自治会員 A</p> <p>・歌笛橋から富田宅前までの道路修繕について</p> <p>水谷産業建設部長</p>	<p>ただくようなことというのが、全国の各地区の予算の調整がありますので、これは何としても私の気持ちとしては7年には整理したいと思っていますのでご理解をいただきたいと思います。</p> <p>歌笛橋から富田さんのとこまでの十字路までの舗装がものすごい凸凹になっている。浦河に行く道路として物凄い交通量が多い。今のままで浮き沈みを放置しておく、かなり支障をきたすというかスピード出さなければ良いが、うっかり出すと、車が壊れるぐらいのショックを受けるような状況で、少なくとも引っ込んだ所の穴埋めだけでも、応急的な措置をしてもらわないと、今のまま置いていたら除雪するにも大分障害があるのではないかと思う。それぐらいひどい。早急に応急措置をしてほしい。</p>
<p>自治会員 A</p>	<p>町道の舗装の段差については、自治会要望の写真を見えています。きっと地盤が悪くて高層物があるところやマンホールなど結構段差が付きやすい場所になります。そういったところについては、町のパトロールなどをして通行に支障があるところは修繕をするようにしております。現在のところかなり段差があるような状況も見受けられますので、改めて現地を確認させていただいて、修繕が必要であればさせていただきたいと考えております。予算の関係もごございますので、早急にできる部分と優先順位を考えながら適宜修理を進めていきたいと思っておりますので、戻りましたら担当にも今一度現地確認するように指示しますので、ご御理解をいただきたいと思っております。</p>
<p>水谷産業建設部長</p>	<p>現地確認して対応をどうするか、出来なければできないなりの答えを自治会長にしておいてもらわないと、話し聞いて要望しました。はいわかりました、善処します。そのあとなしの礫では困る。要望したことに対して考えますと言った限りは、きちんとこういう事情で検討したけれども出来ませんとか、来年再来年には何とかしますとか、そういう答えをきちんと回答してもらいたい。自治会長を通じて、ただ聞きました、何とかしますだけで終わらせてはダメ。こうやって話しを聞いて答えは大体決まっている。予算がないとか何とかします、考えます。なんとかします、考えますと言って考えてくれた試しがない。だからその答えをきちんと自治会に出してほしい。</p>
<p>自治会員 A</p> <p>・ごみの問題について</p>	<p>はい、わかりました。間違いなく現地も確認して、自治会長さんに補修の時期だとか今後の計画についてご説明するようにいたしますのでご理解願います。</p> <p>南歌笛橋付近のごみの問題ですが、担当する職員も説得するのはとても大変だと思います。許可もらったかどうか知りませんが、掘っ建て小屋みたいなのを建てて、堂々と投げているが、少なくともそういう資格を取ってやっていると言い張るのであれば、周りにごみが飛散しないようなフェンスをちゃんと張ってほしい。施設管理をきちんとしてやれというぐらいの命令はできると思</p>

<p>米田地域振興部長</p> <p>自治会員A</p> <p>米田地域振興部長</p>	<p>う。あのまま本人の勝手にさせて投げておいたら、地域としては大変迷惑な話しですから、ただそれなりの対応をやる、ある程度行政で取ってもらわないと、やる方は大変かもしれないけれどもそれが仕事だから、やっていただきたい。</p> <p>南歌笛橋のところのごみのことですけれども、あれはもう10年以上の問題になっています。それで、先ほど●●さんという話しが出たのですが、その方が、あれはゴミではないという主張をしている。それで一昨年、警察が入っています。警察が入って、あそこの中身を全部確認して、現在は犯罪になるのか、どこの業者があそこに持ってきているか等を全部捜査しています。その結果を警察からは聞けませんが、今もその業者に指導はしているという話しは聞いています。ごみの中を確認しましたら産業廃棄物だったので、振興局では、今でも毎月、担当者が本人のところに行って話しを聞いている。そして中の調査する時は、警察と町の職員も一緒に立ち会ってやっていて、改善に向けて進めている段階だということまでしか今のところ言えませんが、ご理解くださいというのは難しいかも知れませんが、今そうやって進めているという段階でございます。</p> <p>資格は持っているのか。</p> <p>持っていません。</p>
<p>閉会挨拶</p>	<p>14:20～ 大野町長</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>まだ、夕方から出る用事があり、時間もあるので、都合がよければ川上会館を見せてください。あと道路の穴も帰り見ていきますので、その結果でまた課内で協議しまして対応方針を決めていきたいと思っております。また何かありましたら、三石支所に米田部長と佐伯課長がおりますので、いろいろと言っていただければと思います。</p> <p>今日は本当にありがとうございました。またよろしく願いいたします。</p>
<p>閉会</p>	<p>14:20 終了</p>